

### 3.西側ルートと東側ルートの比較

次に東側ルートと西側ルートについて、いろんな視点から比較検討してみました。

		東側ルート	西側ルート
ルートの特徴		大沢野中心地街の東側に広がる段丘上を、ほぼ直線的に通過するルート。	大沢野中心地街の西側を通過するルート。
道路利用者から	定時性	西側ルートより道路延長が短い分早い。 ○	東側ルートより道路延長が少し長くなる分遅い。 △
	安全性	丘陵地を通るため、横風や吹雪の心配がある。 △	安全上の問題はない。 ○
地域から	まちづくり	利便性	市街地との標高差が大きく利便性が劣る。 ×
		地域開発	開発計画は少ない。 ×
	大沢野道路への接続道路	新たな道路整備が必要になる。 ×	
	沿線地域への影響	優良農地が潰れる。 △	
	自然・埋蔵文化財の影響	猿倉山周辺の笹倉地区に重要な動植物が確認されている。 △	
事業からの評価	計画範囲の大部分が農地で、西側ルートより容易。 ○	住宅や工場が点在し、東ルートより難しい。 △	
投資効果*	投資効果はプラスである。 ○	投資効果は東側ルートより高い。 ○	
総合評価	地域の活性化支援への目立った効果はない。	地域の活性化支援においては、大いに期待できる。	

※投資効果：整備の結果得られる効果を金額換算し、整備にかかる費用で割ったもの。  
ここでは効果としては走行距離の短縮・走行時間の短縮・交通事故の減少を用いています。



それぞれに  
良い点、悪い点があるんですね。

やっぱり地域の  
事を考えなければ  
いけないわよね。



特に「まちづくり」の面を重視して

**西側ルート範囲**を選定しました。

これまでの検討についてくわしく知りたい方は、大沢野道路P I事務局までお問い合わせください。